

きれいな空気をつくる珪藻土仕上げ材

# リバースコート 取扱説明書

## セット内容

- ①リバースコート専用混合液 2個 (15kg)
- ②リバースコート専用珪藻土 1袋 (6.8kg)

※①と②を全て混ぜ合わせて使用します。作り方は中面をご覧ください。

※リバースコートアイボリーにのみ液体顔料 (150g) が入っています。



## お客様で別途ご用意いただくもの

40ℓ程度の容器、マゼラー等の攪拌器具、ローラー（ローラー塗布の場合）、  
スプレーガン（吹付塗装の場合）

**用途** 内装仕上げ / 内装下地

**塗布量** 1セットで約 80m<sup>2</sup>（ローラー1回塗りの場合）

- 使用期限**
- ・未開封の状態 1年
  - ・開封（未混合） 1か月 ※それぞれ容器内の空気を十分に抜き密閉して保管。
  - ・混合済み 2日 ※密閉できる容器に移し空気を十分に抜いて冷暗所で保管。

## 取扱い上の注意

- ・高温多湿な場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ・炎天下の車内等、40℃以上の高温になる場所に保管、放置しないでください。
- ・5℃以下になる場所に保管、放置しないでください。  
※一度凍結したシーラーは接着力が極端に低下します。
- ・必要に応じて保護する手袋やメガネ、マスク等を着用してください。
- ・皮膚に付着した場合はすぐに洗い流してください。
- ・目に入った場合は直ちに洗眼し医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合は直ちに水で口内をよく洗浄し医師の診断を受けてください。

製造元 株式会社リバースジャパン 〒956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町 1-1628-1  
TEL.0250-47-6071 FAX.0250-24-0181  
Web サイト <https://www.rebirth-j.com>（右のQRコードからもアクセス可）



## 塗布回数を目安

仕上げとして用いる場合は2回塗り以上 ※80m<sup>2</sup>を仕上げで塗る場合、本品は2セット必要です。

防火材料認定（不燃材料）の仕様について

塗り厚 0.3（±0.1）mm／基材※（不燃材料（金属板を除く）） ※石膏ボード

## 施工の前に（作り方）

1. 「リバースコート専用混合液」をよく揉み込んで混ぜ合わせてください。  
（2袋とも）

糊の成分が沈殿していますので、手でよく揉んで混ぜ合わせます。



2. 用意した容器にリバースコート専用混合液を入れます（2袋とも）。



3. マゼラーで一度攪拌します。



4. 攪拌しながら「リバースコート専用珪藻土」を5回程度に分けて入れます。

攪拌しながら分けて入れることで、珪藻土の沈殿が軽減され、なめらかさが出て施工性が向上します。



5. 再度よく攪拌してください（3分程度）。



※リバースコートアイボリーをご購入の場合、アイボリー用液体顔料は5.の工程後に入れ、色ムラがないようによく攪拌してください。

# 施工手順

## 1. リバースコートは乾くと落ちなくなるため、施工前に必ず養生を行ってください。

衣服や床等に付着した場合はすぐに水洗いするか拭き取ってください。

## 2. 壁面より飛び出たビス頭等はしっかり打ちこんでおきます。

リフォームの場合など、施工面がヤニやホコリで汚れている場合は、濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ってください。汚れがひどい場合は粉石けん「リフレパウダー」を希釈した水を使って拭き取ってください。

## 3. 石膏ボードの継ぎ目にメッシュファイバーテープを貼ります。

施工後の目地部のひび割れ防止効果があります。 ※塗装用下地クロスを張る場合は不要です。

## 4. 石膏ボードのつなぎ目、ビス頭等の凹凸や段差をパテで埋めます。

パテ乾燥後、紙ヤスリ等で平滑な面を作ります。段差が残っている場合は、平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリ掛けを繰り返してください。パテ塗りの水には「工事用リバース溶液」と「セラミック水」を1:3の比率で混ぜた水を推奨します。

## 5. パテの粉をよく落とし、パテ処理部分にリバースシーラーを塗り、よく乾燥させてください。

塗装用下地クロスを張る場合は「リバースでん粉糊」をご使用ください。

## 6. 下地が見えなくなるまでリバースコートを複数回塗布します。

ローラー塗布のほか、エアコンプレッサーによる吹き付け施工も可能です。よりきれいに仕上げたい場合は吹き付け施工を推奨します。その場合、必要に応じて別売の「継ぎ足し用珪藻土」で粘度を調整してください。

## 7. 塗布後は風通しを良くして自然乾燥させてください。

<乾燥時間の目安>夏季 2~3時間、冬季 半日~1日程度

熱や扇風機等で急激に乾燥させると、塗布表面と内部の乾燥速度の違いでひび割れが生じる原因となります。



入隅や窓周りなど、ローラーが届かない箇所は先に刷毛で塗ってください。



下地が見えなくなるまで複数回塗布してください。



塗装用下地クロスを使う場合は種類に応じて塗布回数を調整してください。目安は2~3回程度です。



吹き付けの場合は、目の細かいストッキングなどを使ってリバースコートを1回濾してから施工します。



エアコンプレッサーで吹き付けるスプレーガンを用意します。上の写真は塗料用でキャップを外すタイプです。



上部から注ぎ足すタイプ。作業性が良くメンテナンスも容易なため、吹き付けにはこのタイプが最適です。

## 注意事項

- 塗布作業中はこまめに攪拌し、珪藻土が沈殿しないようにしてください。

リバースコートは液体と珪藻土との混合物です。比重の違いにより、珪藻土の方が早く沈殿します。攪拌を怠ると珪藻土が沈殿して液体だけを塗布することになってしまい、リバースコートの効果が十分に発揮されません。また、攪拌が不足するとシーラーが沈殿して塗布量が不足するため接着力が低下します。リバースコートを塗った壁面がポロポロと剥がれる原因にもなりますので、攪拌は十分に行ってください。別容器に小分けする際も必ずよく攪拌をしてから移してください。

- 重ね塗りする際は先に塗ったリバースコートが乾いてから塗ってください。

乾かない状態で重ね塗りすると剥がれてくる場合があります。

- 塗布時に下地が透けて見えていても、乾燥するにつれて白くなります。

下地が見えているからといって一度に塗り重ねすぎると、乾燥後に凹凸が目立ってしまいます。重ね塗りをする際は1回あたりの塗布を薄塗りにするときれいに仕上がります。

- 下地によってはリバースコートが付着しない場合や、シーラー処理が必要な場合があります。

事前に目立たない箇所を試し塗りをしてご確認ください。

- リバースコート塗布後にクロスを張る際は、下記のポイントにご注意ください。

①リバースコートを塗布することで吸い込みが良くなるため、クロス糊は基準量よりも約20%程度多く塗布してください。和紙などクロスの種類によっては更に塗布量を増やす必要がある場合もあります。

②塗布後、不陸調整が必要な場合は削った部分をきれいに掃除し、リバースシーラーを塗布してください。

※上記作業を行わずにクロスを張ると剥離の原因となりますので、必ず行ってください。

## 仕上がりについて

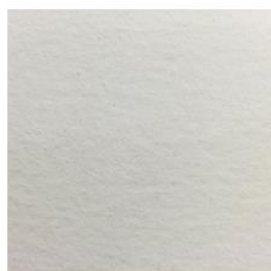
### 色はホワイト（基本色）／アイボリー（液体顔料で調色）

専用の液体顔料（リバースコートアイボリーに同梱／右写真）でアイボリー色にすることができます。他の色をご希望の場合は必ず事前にテストを行い、お客様の了解を得てから施工してください。



### 塗装用下地クロスを張って塗布することでパターン付けも可能

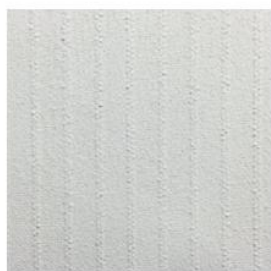
施工が容易になり、仕上がりも美しくなります。下地クロス自体も吸湿性に優れており相乗効果があります。



通常の仕上がり



パターン例1



パターン例2



パターン例3

※仕上がりの色は印刷の性質上、実物と多少異なることがあります。